

# 第24組 広報

発行日  
2016年11月1日  
第174号  
発行責任者  
組長 美濃部俊裕

## 始動したプロジェクト24

—これからの寺院のあり方を創造する— 組長 美濃部 俊裕



7月より新年度に入り、組総会でご承認いただいた事業について、教化委員会などで協議を重ねながら、鋭意取り組んでおります。特に始動したプロジェクト24のメンバーには、新しく4人のメンバーに加わっていただき、来年6月に開催する組同朋大会の内容や方法について検討を進めています。

会場は木之本スティックホールで行うことが決まりました。講演を聞いていただくだけでなく、午前中には、親子で楽しんでもらえるような活動を考案中です。若い世代にも参加していただくには、どうしたらよいか検討しています。また、この機会にみんなで佛教讃歌などの合唱ができる取り組みをしてはどうかという意見も出ています。開催概要が決まりましたら、できるだけ早くご案内しますので、いろいろな形でご参加くださることを願っています。

組総会などでもお知らせしましたが、「元気なお寺づくり講座」を24組で受け、募集しましたところ組内で4ヶ寺から16人が参加されることになりました。10月から来年3月にかけて5回の実施です。住職、坊守とご門徒が集い、一般社団法人「お寺の未来」と本山企画調整局のご指導のもと、お寺が大切にしてきた教えや伝統の価値を再発見し、これからの寺院のあり方を創造していくことがねらいです。今後、組内の皆さまにもご報告していきます。

この時期、本山や各お寺では報恩講が勤まります。子どもたちにも、お念仏の教えが伝承されますように、ご家族そろってお参りください。



### 24組 11月・12月の事業

内容	日時	場所／講師
門徒会本廟奉仕	12月5日(土) ～6日(日)	本山同朋館 ／本山会館教導
婦人部本廟奉仕	11月5日(土) ～6日(日)	本山同朋館 ／本山会館教導
坊守学習会③	12月10日(土) 午前9時30分	了覚寺(熊野) ／秦信映氏



「プロジェクト24」の会合の様子

# 門徒会研修会に参加して

報春寺 門徒会会員 田部 務



去る9月18日、報春寺（田部）を会場に、第4回組門徒研修会が開催されました（写真）。講師として中濱顕文先生を（20組白桜寺住職）をお迎えしました。

当日は、台風16号の接近と秋雨前線の活発化で激しい雨にもかかわらず、36名にご出席をいただきました。

今回の講義内容は、主に「宗門の歴史」の中の、昭和37年真宗同朋会運動の始まりから50年半ばまでの歩みを学ばせていただきました。

この歴史の中で、教団や身近な寺院では様々な問題や事件が起こり、教団自体が親鸞聖人の教えにかなっているのか問われることになったそうです。先生は、当時発生した問題や事件にふれられると同時に、聖人の教えについて、正信偈の一節や起こった事件から発せられた「あるべき姿」の宣言を用い、現代社会で起こっている事象も交えての講義で、聖人の教えや先生の想いが熱く伝わってきました。私自身を振り返ってみますと、過去に事件が起こっていたことは「聞いた事があるな～」程度で、恥ずかしながらあまり気に留めることがありませんでしたが、この歳になり研修を受ける機会をいただき、回を重ねる毎に教えの奥深さを感じております。

最後に、今回会場に初めてお参りいただいた方も多いと思いますが、「田部の寺に参るのはひさしぶりやわ～」と言ってお参りくださった方もおられました。お参りいただいた皆様、ありがとうございました。

合掌

## 真宗本廟両堂等御修復完了奉告法要

日 程	時 間	内 容
11月20日（日）	12:20	・加賀献木木遣り行列（雨天決行） ・仏教讃歌—御影堂にて演奏
	13:10	記念法話 安富信哉氏（教学研究所長）
	14:00	奉告法要 逮夜
11月21日（月）	6:50	報告法要晨朝 法話 白山敏秀氏（北海道教区）
	9:20	記念法話 安原晃氏（前宗務総長）
	10:00	奉告法要 日中 音楽法要

## 2016年真宗本廟報恩講

日時 11月21日（月）～28日（月）報恩講法話（毎日13:20より）

21日（月）藤嶽明信氏（三重教区）	22日（火）松金直美氏（高岡教区）
23日（水）青木玲氏（久留米教区）	24日（木）上橋顕雄氏（大阪教区）
25日（金）蒲池勢至氏（名古屋教区）	26日（土）田村晃徳氏（東京教区）
27日（日）沙加戸弘氏（京都教区）	

お誘い合わせてご参拝くださるようご案内申しあげます。詳細については同朋新聞をご覧ください。

# 報恩講について

宗祖親鸞聖人は、1262（弘長2）年11月28日に、90歳の生涯を終えられました。親鸞聖人をはじめ、念仏の教えに生きられた先達に思いをいたし、その恩徳に感謝し報いるためのお勤めが報恩講です。お念仏の教えを聴聞し、自らの生活を振り返る、一年でもっとも大切な御仏事として、全国各地の寺院・教会をはじめ、ご門徒の家々においても勤め

られており、「御取越」や「お引上」の名でも親しまれています。「御取越」とは、ご門徒の家々における報恩講の別称です。親鸞聖人の御命日が巡ってくる前に取り越して勤めることからそう呼ばれており、「お引上げ」も同様の意味です。

報恩講は、人々が寄り合い、お齋をいただくなど、共にふれ合いつつ聞法する場として今日まで脈々と勤められてきています。



## 各寺の法座の案内

※報告寺院のみ掲載

寺院	法座名	期日	法話者
浄教寺（東阿閉）	報恩講	12月2日（金）～4日（日）	中浜 顕文氏（3日15時）
覚勝寺（西阿閉）	報恩講	11月12日（土）～13日（日）	住職
圓行寺（西柳野）	報恩講	11月4日（金）～6日（日）	藤原 勲氏
随願寺（柳野中）	永代経	12月10日（土）10時30分	住職
	報恩講	12月10日（土）～11日（日）	住職
梅龍寺（磯野）	報恩講	11月19日（土）～20日（日）	住職
本宗寺（磯野）	報恩講	11月12日（土）～13日（日）	住職
双林寺（西物部）	報恩講	11月22日（火）	住職
証光寺（東物部）	報恩講	11月12日（土）～13日（日）	橋 善證氏・益田 弦氏
猶存寺（布施）	報恩講	11月18日（金）～20日（日）	住職
長照寺（唐川）	報恩講	11月19日（土）～20日（日）	高岡 淳氏・住職・副住職
圓常寺（千田）	報恩講	11月11日（金）～13日（日）	住職
来入寺（千田）	報恩講	11月11日（金）～13日（日）	住職
明德寺（黒田）	報恩講	11月18日（金）～21日（月）	貴山 明氏
樹徳寺（田居）	報恩講	11月4日（金）～7日（月）	秦 信映氏
誓海寺（大音）	報恩講	11月11日（金）～13日（日）	住職
明源寺（今市）	報恩講	11月3日（土）～4日（日）	橋 善證氏
景好寺（柳ヶ瀬）	報恩講	11月6日（日）10時	秦 信映氏

【訂正】先号で、組婦人会役員名簿の中の副会長に誤りがありました。正しくは大橋節子さん（明楽寺）です。お詫びし訂正させていただきます。

# 御越年法要の由来

歳末から年始にかけては、誰もが過ぎた一年のことをふり返り、来る年に希望をつなぐ大切な時期であります。旧湖北1市3郡では、毎年12月26日より翌年正月8日まで「御越年(ごおつねん)法要」として、東本願寺第20代達如上人が旧1市3郡へ御下付された、御父君乗如上人の御影2幅を1ヶ所に掛けまして法要を営み、念仏相續して各自の信心を確かめてこられました。

また、これが終わると、最寄の村から順にその1幅ずつを2ヶ所にわけて「御鏡割法要」を営み、さらに続いて各集落毎に「まわりぼとけ様の法要」が営まれます。

その由来は今から約220余年前の天明8年(1788)、乗如上人45歳の時、京都に大火災がありました。正月30日の暁、洛東からでた火は鴨川を越えて西にひろがり、暴風にあおられて町々にとび、大内裡、仙洞御所、二条城をはじめ、東本願寺も、宝庫と枳殻邸(きこくてい)を残して全部焼け、各宗寺院950ヶ寺、民家19万1000戸、死者2630人に及びました。東本願寺では取りあえず仮の本堂として翌年5月、河内国八尾別院の本堂を移しました。

その翌年再建の御書を発せられ、それには「上は仏祖代々の冥意に対し下は門葉の悲歎に進退につき道を失える有様なり(中略)然れば即ち、一流にその名をかけたる道俗、如来大悲の恩徳を念じいささか当方の微意をくみえて、まず他力の信心を獲得して懇念のまことより自他一味の志を励まして一同の助成によって、速やかに再建就候ように、偏に頼み思うことにて候」と仰せられてあります。そして翌年3月28日から御影堂建立の工事が進められ、時の将軍徳川家斉公から飛驒の木材2000本等の寄進もありましたが、悲しいかな乗如上人は御悲歎と御辛勞のため、同4年2月22日49歳をもってお亡くなりになりました。

次いで第20代達如上人が工事を完了せられましたが、その期間、諸国の門徒が御手伝いにあがり、その合宿所が詰所等となづけて今も本山周辺に残っています。(※伊香詰所)

さて、達如上人は落慶法要にあたり、今日成就のよろこびは偏に乗如上人のご功績によるものと申され、かねて存命中に描かれた御寿像をお掛けになり、勤修されたと伝えられておりますが、程なく達如上人は、永い年月にわたり国もとを離れ再建のお手伝いに従事した湖北旧1市3郡門徒衆の苦勞に対し、特に乗如上人の御寿像2幅と御書(ごしょ)をお下げになり、法義相續を願われました。これは曾(かつ)て先例もないことなので、尊い思召しに感泣した代表の人々は、乗如上人の御命日の日をとって、湖北旧1市三郡一円の「二十二日講」を組織いたしました。この中心行事となるものが御越年であって、長浜旧市内、旧坂田郡山西、旧同郡山東、旧上浅井、旧伊香、旧下浅井の順に年々継承されております。

この御影は御生前のお姿ゆえ御寿像と申し、必ず毎年の年末年始にお鏡餅を供えて「御鏡割法要」を勤め、それを小割りして一般の信徒に分け、さらに、「まわりぼとけ様の法要」を営むことになりました。こうした大切な法要でありますから、こぞって参詣いたし、仏祖の報恩に御先祖の御苦勞感謝を兼ねて、念仏相續にいそしみたいところであります。(秦広報委員)

## <本年御越年法要日程> 日中は午前9時30分・速夜は午後1時より

❖ 本年の御越年法要は、米原市井之口の丸岡行雄氏宅で勤められます。法話者は次の通りです。

12月26日(月)	速夜	一色 孝氏(米原市朝日:光西寺)
12月27日(火)	日中・速夜	秦 信映氏(長浜市木之本町:明德寺)
12月28日(水)	日中・速夜	佐藤義成氏(長浜市湯次町:満徳寺)
12月29日(木)	日中・速夜	林 憲淳氏(不破郡垂井町:寶光寺)
1月 5日(木)	日中・速夜	法雲俊邑氏(米原市甲賀:観行寺)
1月 6日(金)	日中・速夜	堀澤俊行氏(米原市上野:念願寺)
1月 7日(土)	日中・速夜	林 憲淳氏(不破郡垂井町:寶光寺)
1月 8日(日)	日中	秦 信映氏(長浜市木之本町:明德寺)